

# CP2・CP3：物干金物用ポールセット




## 施工説明書

このたびは、物干金物用ポールセットをご購入いただきありがとうございました。正しくお取扱いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。またご使用になる方がいつでもご覧になれるように必ず保管してください。

### 施工の前に



- 製品をご確認ください。  
製品を施工する前に製品の種類・サイズなどが施工箇所に適合しているか、図面指示通りの取付けができるか、製品不良、作動不良、搬送中の破損などが無いかを必ずご確認ください。
- 施工箇所をご確認ください。  
製品を施工する前に、取付箇所となる手すりや、コンクリート面の強度は十分であるか、及び、取付面に段差や異物などが無いことを必ずご確認ください。強度不足・施工不良などの原因になります。
- 取付工事は手袋を着用して行ってください。
- 製品取付後の検査・確認を行ってください。  
ボールの垂直が出ているか、ネジ類が確実に締められているか、ボールの昇降作動が確実にできるか、収納時にボールが地面に付いていないかなどの検査・確認を行ってください。

### 安全上の注意事項

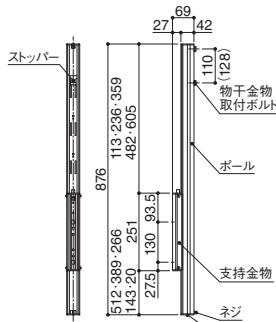
-  **警告** この表示は取扱いを誤ると『死亡』または『重症』を負う可能性が想定される内容です。
-  **警告** ベランダ、バルコニーの手すり、コンクリート壁の外側には絶対に取付けないでください。外側に取付けると、物干竿が落下する恐れがあり、非常に危険ですのでおやめください。必ず物干金物取付部がベランダ、バルコニーの内側になるようにポールを取付けてください。
-  **警告** ベランダ、バルコニーの手すり、コンクリート壁に取付ける際は、取付高さにご注意ください。手すり乗越え防止のため、必ず下記の注意事項をお守りください。(公営住宅建設基準 第36条より)

#### 物干金物の設置における注意事項(取付納まり参考図)参照

竿かけ用穴の一番低い部分、または足を掛けることができる一番低い部分が床面、または手すりの足が掛かる部分から650mm以上の高さになるように取付してください。

-  **警告** 十分な強度が得られる手すり、コンクリート壁に取付けてください。強度が不足すると大変危険ですので、施工前に必ず強度をご確認ください。
-  **警告** 避難経路を確保できる場所に取付けてください。ベランダ、バルコニーに施工する際、避難経路の妨げにならないようにご注意ください。

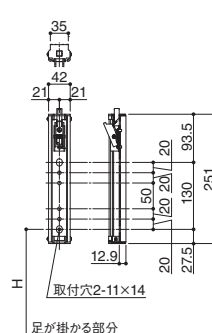
### 製品形状



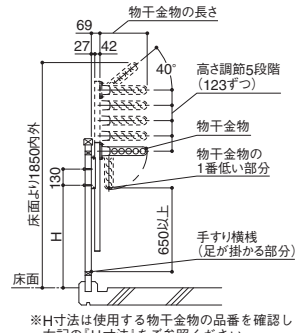
(製品詳細図) (寸法はCP3)

#### H寸法

ポール品番	適合物干金物品番	H寸法
CP2	ADC380CP2	685以上
	ADC450CP2	755以上
	ADC500CP2	805以上
	ADC450・700DP2	545以上
CP3	ADC380・450・550EP2	545以上
	ADC650EP2	590以上
	ADC300HP3	545以上
	ADC400HP3	610以上
	ADC500HP3	675以上



(支持金物詳細図)




(取付納まり参考図)

※H寸法は使用する物干金物の品番を確認し左記の「H寸法」をご参照ください。

### 参考取付用部品

- コンクリート下地：M8六角ボルト、M8ワッシャー、M8用アンカー (ポール1本に2セット)
- 手すり支柱：M8六角ボルト、M8ナット、M8ワッシャー2枚 (ポール1本に2セット)
- 手すり子：弊社で取付金物を用意しておりますので、下記へお問合せください。(ボルト、ナット、ワッシャーは手すり支柱同様)
- ボルトの長さ：支柱またはアンカーなど施工箇所に合わせてお選びください。
- 取付工具：ボックスレンチ、プラスドライバー

 **注意** 取付用ボルトの長さをお選びいただく際に、ポール支持金物の取付面からの距離を考慮してください。(支持金物詳細図)参照

－ 設置方法は裏面をご覧ください －

## 物干金物の設置における注意事項(取付納まり参考図)参照)

### はじめに

取付前に製品の状態、取付に必要なもの、取付箇所の強度が十分であることを確認してください。  
取付高さが表面の『物干金物の設置における注意事項』を守っているか確認してください。

#### 1. ポール支持金物取外し【図1参照】

- (1) ポール下部のネジを外し、キャップ下を外してください。  
※キャップを外す際、支持金物の落下に注意してください。
- (2) 支持金物をポールの下側へスライドし、ポールから抜き取ってください。

#### 2. 支持金物の取付け

取付方法は取付箇所而异ります。取付箇所にあった方法で取付を行ってください。  
※使用する物干金物の種類により支持金物の取付高さの範囲が異なります。  
使用する物干金物の品番を確認し、表面の支持金物詳細図の『H寸法』をご参照ください。

##### ● 手すり支柱取付の場合【図2参照】

- (1) 表面の支持金物詳細図の『H寸法』を参照し、支持金物の取付高さを決めてください。
- (2) 支持金物を決めた高さに垂直に固定し、取付穴位置の印をつけてください。  
(取付穴:11×14 130mmピッチ)
- (3) 印をつけた位置にφ10の貫通穴をあけてください。
- (4) 用意した取付用部品で支持金物を手すり支柱に取付けてください。

##### ● コンクリート壁取付の場合【図3参照】

- (1) 表面の支持金物詳細図の『H寸法』を参照し、支持金物の取付高さを決めてください。
- (2) 支持金物を決めた高さに垂直に固定し、取付穴位置の印をつけてください。  
(取付穴:11×14 130mmピッチ)
- (3) 印をつけた位置に穴をあけ、アンカーをセットしてください。
- (4) 用意した取付用部品で支持金物をコンクリート壁に取付けてください。

#### 3. ポールの取付け【図4参照】

- (1) 支持金物上部のボタンを押した状態で、支持金物のスライド溝にポールのレール部を差込んでください。
- (2) ポールのストッパーに当たるまでポールを下げ、ボタンをはなしてください。
- (3) 1. で取外したキャップ下をポールにはめ、ネジで固定してください。

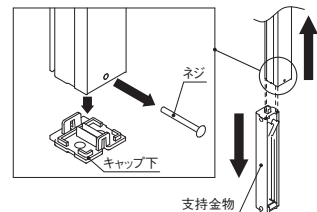
#### 4. 物干金物の取付け【図5参照】

- (1) ポール上部の物干金物取付用ボルト・ワッシャーを外してください。
- (2) ポールのボルト穴と物干金物の取付穴を合わせ、外したボルトとワッシャーで物干金物を取付けてください。  
※取付の際、物干金物の取付方向にご注意ください。

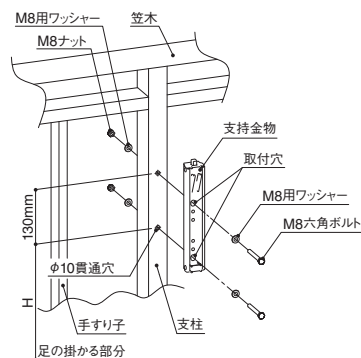
#### 5. 取付完了検査

- 取付高さ、取付位置が指示通りであるか確認してください。  
※『物干金物の設置における注意事項』が守られていること。
- 製品の天地に誤りがないか確認してください。
- 製品がゆがみ・ねじれなく水平・垂直に取付けられているか確認してください。
- ボルト・ネジの緩み、締忘れがないか確認してください。
- ポールと物干金物が正常に作動するか確認してください。  
※作動確認後、ポールを最下段にし、物干金物を収納状態にしてください。

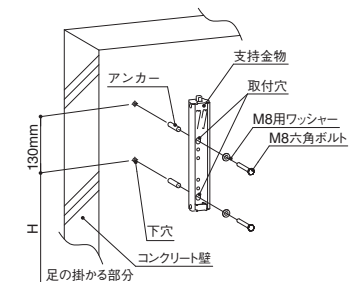
■ 図1



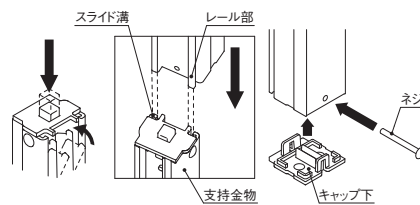
■ 図2



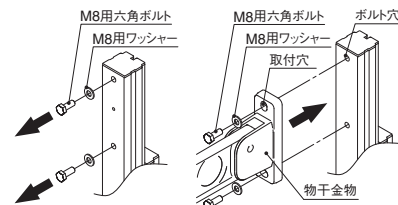
■ 図3



■ 図4



■ 図5



## ポールの操作方法【図6参照】

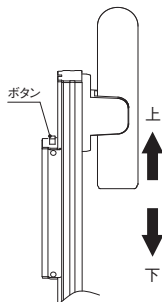
### ● ポールの上げ方

ポールを持ち、そのまま上に引き上げてください。  
ポールの高さを5段階(123mmずつ)調節できます。

### ● ポールの下げ方

ポールを上にし、ボタンを押すとロックが外れます。  
ロックを外した状態でポールを下にゆっくり下げてください。  
※ボタンを押したままポールから手を離すと、ポールが落下し、破損・ケガをする恐れがありますので、ご注意ください。

■ 図6



## ポールの最下段高さ調節方法【図7参照】

事前に高さ変更の指示があった場合、『物干金物の設置における注意事項』が守れない場合、または、ポールを最下段にした時にポールが床面についてしまう場合は、ポールの最下段高さを調節してください。

ポールのストッパーの取付位置を変更することで、高さを調節することができます。  
調節範囲は123mmずつ5段階調節が可能です。

■ 図7

